

茨城県自殺未遂者支援研修会

過量服薬への 対応を考える

近年未成年者、若年者の自殺企図や過量服薬の事例が増加しています。その背景に処方薬・市販薬乱用の問題も指摘されています。本シンポジウムでは過量服薬を含めた若者への自殺企図への対応や処方薬・市販薬乱用の実態と対応について我が国有数の専門家のご講演をいただき、救急対応や精神科的対応について学びたいと思います。精神科に限らず幅広い皆様のご参加をお願いします。

日時：令和7年2月21日(金) 17:00～19:00

会場：筑波大学附属病院 桐の葉モール2階講堂
ハイブリッド開催 (会場開催とZoomによるオンライン開催)

定員：400名程度 (会場：100名程度／オンライン：定員300名)

参加費無料

主催：国立大学法人 筑波大学

後援：茨城県、茨城県精神保健福祉センター



PROGRAM

※当研修会は「こころの連携指導料(Ⅰ)」の要件研修会ではございません。ご注意ください。

司会：太刀川弘和 筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学 教授／松尾真裕子 筑波大学附属病院 精神医療・自殺対策連携センター 精神保健福祉士

開会あいさつ：井上貴昭 筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学 教授

第1部

座長：浜野淳 筑波大学附属病院 医療連携患者相談センター 部長

40分



「若者の自殺企図への対応」

衛藤 暢明先生 福岡大学医学部精神医学教室 講師

第2部

座長：太刀川弘和 筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学 教授

40分



「処方薬・市販薬乱用の実態と対応」

松本 俊彦先生 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長／薬物依存症センター センター長

総合討論

座長：太刀川弘和、浜野淳

30分

閉会あいさつ：新井哲明 筑波大学医学医療系 精神神経科 教授

▶対象：自殺未遂者支援に携わる医療機関職員、行政職員、その他関係機関職員

▶申込み先：<https://forms.gle/4eBvtFjk4XxMYSwF8> (右のQRからもお申し込みできます)

▶申込期限：令和7年2月14日(金)

お問合せ先

筑波大学附属病院 精神医療・自殺対策連携センター

TEL：029-853-3800 E-mail：ccsp-c@un.tsukuba.ac.jp <https://www.hosp.tsukuba.ac.jp/seishiniryocenter>

